

住みなれた地域で、いつまでも自分らしく安心して暮らせるまちへ

認

知

症

を知り地域で  
支えよう!



現在、全国で認知症の人は約170万人いるとされ、85歳以上の人では4人に1人の割合でその症状がみられるといわれています。ここでは、認知症について理解を深め、認知症の人への接し方などについて考えてみましょう。

問合せ 介護福祉課高齢者福祉係・地域包括支援係（内線3261・3271）

## ●認知症とは

「認知症」は、だれにでも起きる可能性のある脳の病気です。いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったためにさまざまな障がいが起こり、およそ6か月以上継続して日常生活に支障が出ている状態を指します。自然な老化で起こる単なる「もの忘れ」とは違います。

## ●どのように接したらいいの？



“3つの「ない」”

①驚かせない

②急がせない

③自尊心を傷つけない

### 具体的な対応の7つのポイント

- まずは見守る
- 余裕をもって対応する
- 声をかけるときは1人で
- 後ろから声をかけない

- 相手に目線を合わせてやさしい口調で
- おだやかに、はっきりした滑舌で
- 相手の声に耳を傾けてゆっくり対応する

※認知症サポーター養成講座標準教材「認知症を学び地域で支えよう」より

## ●どこに相談すればいいの？

家族で認知症が疑われても、なかなか周りの人に相談できないことがあるかもしれません。しかし、ひとりで悩んだり家族だけで対応するのではなく、相談窓口をぜひ利用してください。

### 相談窓口

各地域の包括支援センター

- 久喜中央地域（市役所介護福祉課内・内線3272）
- 久喜東地域（市社会福祉協議会内・☎23-8845）
- 菖蒲地域（菖蒲総合支所内・内線155）
- 栗橋地域（栗橋総合支所内・内線233）
- 鷲宮地域（鷲宮総合支所内・内線169）

### 電話相談

- （社）認知症の人と家族の会 ☎048-667-5553  
※月・火・金曜日（年末年始・祝日を除く）10時～15時
- 若年性認知症の電話無料相談 ☎0800-100-2707  
（認知症介護研究・研修大府センター） ※月～土曜日（年末年始・祝日を除く）10時～15時

